

かかりつけ医の先生へ（術後経過観察パス用）

【患者さんへの説明】

1. 病理所見についてはお話してあります。「肺がん」との告知済みです。
2. かかりつけ医の先生と併診の形で診療することを説明し、同意を得ております。
3. 風邪などの通常疾患での受診や一般の成人病や第2癌の検診などについて特にかかりつけの先生にお願いする旨を説明しております。

【観察期間および運用】

1. 原則5年間（5年目に双方の評価を行い、10年まで延長する可能性もあります）
2. 貴院での診療の間隔については特に設定していません。
病態に応じた対応でお願い致します。
3. 術後経過の評価と再発の有無は主に当方でチェックいたしますので、併存疾患を中心に診療していただきます。「術後合併症」や「再発」に対する判断は、拠点病院が責任を持って対処いたしますので、日常診療の範囲でのご協力をお願いいたします。必要に応じて拠点病院へ受診させていただきます。
4. 診察は、問診および理学的所見です。ご面倒ですが、情報共有シートへの記載をお願いいたします。
5. 診療に関する疑問点や相談がありましたら、お気軽に連携先のがん拠点病院へ連絡をしてください。

【緊急時など】

貴院での対応が困難な場合は、応急処置の後に搬送・移送をお願い致します。

【検査について】

1. 原則として依頼する検査（血液・画像・内視鏡など）はありません。
2. 日常診療における採血検査や評価をお願いできると幸いです。
3. 腫瘍マーカーによる評価は設定していませんが、患者さんとの合意の上測定することは差し支えありません。データの共有ができると幸いです。
4. 画像検査（胸部Xpや胸部CT）はがん拠点病院で施行します。追加で検査を行うことに関しての制限はありませんので、必要であれば検査をお願いいたします。
5. 積極的に再発に対する検査を行っていただける場合には、連携先のがん拠点病院と相談ください。

【連携パスに関するご意見】

がん診療における連携パスは、今後も改良を重ねていく必要があります。この連携パスシステムに関するご意見、ご指摘がありましたら下記までご連絡ください。患者さんの病態に関する問合せは、連携先のがん拠点病院までお願いいたします。

肺がん領域連携パス 開発担当グループ

愛知県がんセンター中央病院

FAX：052-764-2963 （事務局）

呼吸器外科部長 坂尾幸則（代表）

E-mail: lk_rennkei@aichi-cc.jp

【拠点病院 主治医 連絡先】

がん拠点病院（連絡先）

がん拠点病院 主治医名